



乳がん検診について



乳がんは1960年以降一貫して増え続け、女性の壮年層のがん死亡原因のトップになっています。

しかし早期発見であれば、治る確率は高くなり、そのためには定期的な検診が大切です。触診のみの検診では、早期の乳がん発見には有効性がないとされており、当院ではエコーかマンモグラフィによる検診をお勧めしております。エコーかマンモグラフィのどちらを受けるのが良いのかは、年齢や乳腺のタイプにより異なります。

若い人ほど高濃度乳腺が多く、マンモグラフィではしこりが隠れやすくなります。また、若い乳腺ほど放射線被ばくの影響を受けやすいと言われているため、エコーをお勧めしております。ただ、石灰化等マンモグラフィでしかわからないものもあります。

そこで原則的には、以下の様にお勧めしております。

20代、30代の方	エコー中心
40代、50代の方	エコーとマンモグラフィの交互
60才以降の方	マンモグラフィ中心

ただ乳腺は個人差があり、どのような検診がその方に適しているかは個々により異なりますので、あくまでも初回お受けになるときの参考としてください。

2回目からは個別の指示に従ってお受けください。

また、当院は健康保険組合様及び企業様からの委託検診がほとんどです。ご加入の健康保険組合様等によってどのような検査項目が受けられるかが異なりますので、ご予約の際にご相談下さい。

当院で乳がん検診をお断りさせていただいている方

- 過去に乳がんの手術をされている
- 豊胸術をされている方
- 乳腺の異常で他院にてフォロー中の方

エコーで受けて頂くかた

- 20才代の方
- 妊娠、授乳中の方
- ペースメーカー埋め込みの方
- 減圧チューブの入っている方